

平成 24 年度 第 2 回三条市食育推進及び農業振興審議会会議録

1 日 時 平成 24 年 11 月 29 日(木) 午後 1 時 28 分～午後 3 時 40 分

2 会 場 三条市役所 2 階 大会議室南側

3 議 題

(1) 第 2 次三条市農業活性化プランについて

4 報告事項

(1) 平成 24 年度 三条市農業活性化プラン実施状況中間報告

(2) 平成 24 年度 第 2 次三条市食育推進計画実施状況中間報告

5 出席状況

(1) 出席委員

粟生田委員、上村委員、坂井委員、小林(茂)委員、豊岡委員、樋口委員、岩崎委員、星野委員、渡邊委員、小林(武)委員、六原委員

(2) 欠席委員

皆川委員、外山委員、五十嵐委員、青木委員

(3) 事務局職員

渡辺福祉保健部長

長谷川経済部長

健康づくり課 捧主幹、田村室長、大泉技師

農林課 大山課長、山村課長補佐、板垣室長、平岡係長、渡辺主任、佐藤主任

(4) 傍聴者 なし

(5) 報道機関 なし

6 開 会

粟生田会長	<p>ただ今から、平成 24 年度第 2 回三条市食育推進及び農業振興審議会を開会いたします。</p> <p>本日の出席は、委員 15 人のところ、出席 11 人、欠席 4 人で委員の過半数の出席であり、三条市食育推進及び農業振興審議会規則第 3 条の 2 に基づき、会議が成立しております。</p> <p>本日の議題は「第 2 次三条市農業活性化プランについて」の 1 件です。</p> <p>本件につきましては、農業活性化プランの素案について審議するものでありますが、内容が膨大でありますし、また、委員の皆様も資料が届いて間もないということで、説明を受けた後、まずは説明内容について確認しておくべき事項等の質疑を受け、その後、各章毎にご意見をいただくということで進めさせていただきますので、よろしくお願いたします。</p> <p>それでは「第 2 次三条市農業活性化プランについて」事務局、説明をお願いします。</p>
-------	---

平岡係長	(資料No. 1 について説明)
粟生田会長	それでは、説明が終わりましたので、全体を通じて説明資料の中で確認しておくべきことや、不明な点について質疑をいただきたいと思います。いかがでしょうか。
豊岡委員	直売所の場所について、地域の人がどれだけ知っているのでしょうか。道の駅に直売所が併設されているところが多いですが、そのようになっていると場所が分かりやすいです。ある程度規模が大きい場所と連携すると周知しやすく、規格外農産物販売もスムーズになるのではないのでしょうか。
山村課長補佐	直売所について、下田の道の駅に1か所できる予定です。また、保内でも農産物の販売ができるよう取組を進めているところです。
平岡係長	直売所マップは以前も作成しましたが、地元の方に知られていないこともあるので、新たにマップの作成について検討していきたいと思います。
六原委員	31 ページの「農業担い手育成塾」について、誰がどのような趣旨で作るのでしょうか。また、直売所について、横の連携を取るための調整をする必要があります。どこが主体で実施するかをはっきりさせると良いのではないのでしょうか。具体案があれば教えてください。
平岡係長	31 ページ資料について、「農業担い手育成塾」の具体のコースとして「販売実践コース」と「品質向上コース」を掲載し、対象者や内容について説明しています。 また、直売所の横の連携について、今年1回直売所の方々を集めて情報交換会を行いました。全員ではありませんでしたが、今後も農林課がバックアップしながら形作ることが大切だと思います。
豊岡委員	直売所の売上はどのくらいなのでしょう。
平岡係長	栄地域のいちいの季で年間5,000 から6,000 万円の売り上げがあります。
樋口委員	18 ページの農業者の経営の現状について、年間収入100万円は少な過ぎるのではないのでしょうか。生産して、そのまま卸売するだけでは収入が上がらないと思います。もう少し販売手法を伝えると良い。 また、米の価格は高いと思います。外国産米は国産米の3分の1の価格で、味も良くなってきました。T P Pで税金が掛からなくなると小麦粉の価格が下がるようになります。今はおいしいパンも多いので、1食当たりの価格が米より安いと米の時代でなくなることもあると危惧しています。

坂井委員	<p>下田地域で道の駅の直売所が新たに設置されるに当たり、栄地域以上の売上を期待しています。前向きに市が取り組んでいることを評価しています。首都圏への米の販売について、おにぎりを握って食べさせる手法を採っていましたが、大変好評でした。農業者は自分で販売することが上手くないので、市で上手に導いてもらいたい。</p>
星野委員	<p>31 ページの「意欲ある農業者の支援・育成」について、脱サラして農業をやりたい人が身近にいるが、どのような手続きで農業ができるのでしょうか。</p>
渡辺主任	<p>残念ながら農業は、新しい方が入る方法が少ないのが現状です。市では「人・農地プラン」を推進することで担い手を育てようとしています。</p>
粟生田会長	<p>このことについては各論に入ってから議論に移りたいと思います。他に質問はありませんか。</p>
渡邊委員	<p>9 ページ(5)について、子供が作る弁当の日は少しずつ結果が見えてきています。市外の学校に通っている子供と比べると、弁当の日に取り組んでいる学校の子供は料理や畑など食に大変興味を持っています。効果が出ていると実感できるので、是非続けてもらいたいです。</p>
田村室長	<p>大島中学校が弁当の日と生産者交流会を一緒に実施したことが評価され、県知事表彰を受けることになりました。これからも弁当の日の取組について継続してサポートしていきたいと思います。</p>
六原委員	<p>先日、学校給食の試食会に行ったのだが、6年生に「給食にパンや麺が出ていたのを覚えていますか」と聞くと、覚えていない子供がほとんどで、米飯給食が浸透してきていることがうかがえました。米飯で食べるおかずはパン食に比べて良いといわれているので、更に米飯が広がっていけば良いと思います。</p>
小林(武)委員	<p>先ほど樋口委員が言われたことですが、米よりもパンが食べられるようになるのではということでしたが、米のほうが健康に良いことは少しずつ分かってきていることです。TPPも心配ですが、農家が頑張れるように支援してもらいたいと思います。</p>
樋口委員	<p>規格外の農産物は販売されているのでしょうか。数を集めたいが、なかなか集まらない。</p>
板垣室長	<p>規格外の野菜についてはピッキングセンターで販売を進めています。まとまった数が出せるかどうか農家と検討しながら進めていきたい。</p>
樋口委員	<p>カット野菜はスーパーによく出ています。東京は野菜の半分程度がカット野菜になって販売しているようです。これからは加工部門や農家レストランなどが伸びると思います。カッ</p>

	トだけでなく加熱しても良いのではないのでしょうか。
小林(茂)委員	11 ページについてですが、専業農家だから良くて、兼業農家だから悪いというわけではないと思います。積極的な兼業農家もいます。専業農家は生活が懸かっているので、新しいことに取り掛かりにくいですが、兼業農家は農業だけでなく、他の仕事もしているため、新たな手法を試すこともできます。
平岡係長	内部会議でも「このプランでは専業農家を増やすことを目的とするのか」という意見がありました。専業農家を増やすということではなく、兼業農家も支援し、専業、兼業問わず農業の活性化をしていきたいと考えています。
小林(武)委員	三条市は地場産業の発展と農業の発展を並行していくべきです。農家は多くが地場産業との兼業農家だと思うので、事務局はそれを踏まえてプランを作成していただきたいです。
上村委員	星野委員が話されたことについて、新たに農業をやろうという人の受け皿はあるのでしょうか。
板垣室長	三条市で1件実績がありました。後ほど説明したいと思います。
栗生田会長	その他ないようですので、これより素案に対してのご意見をいただきたいと思います。 各章ごとに進めさせていただきますので、まずは第1章についてご意見をお願いします。 (意見なし) 他にないようですので、議題について、事務局案として進めてください。
栗生田会長	では、次に第2章についてご意見をお願いいたします。 (意見なし) ないようですので、議題について、事務局案として進めてください。
栗生田会長	では、次に第3章についてご意見をお願いいたします。
六原委員	新しく農業を始めたい人が就農することは難しいことが分かりましたが、何がネックになっているのか、また取り除く方法があるのかどうか教えてください。 また、小さな農家を集めて販売するような法人があると良いと思いましたが、農家でご高齢の方から若い人へノウハウを伝える場面があると良いと思いました。
平岡係長	農業をしたことがない人が始めるための受け皿はありますが、その方がどのような農業をやりたいのかで異なります。 農地組合法人に就農することもできますし、株式会社が経営している農地もあります。こ

	<p>これらの受け口としても農林課でさせていただきたいと考えています。</p> <p>また、就農へのネックとなっているのは所得だと思います。法人に参加しても他と同等の給料はもらえません。そこで、「人・農地プラン」を進めているところです。ここでは地域の農業について語り合い、新規就農についても現実的に話し合う場があり、実際には国庫補助金を活用して就農支援することも可能です。是非農林課に相談させていただきたいと思います。</p>
小林(茂)委員	<p>26 ページに「流通コスト低減の仕組み」とあるが、具体案はあるのでしょうか。</p>
山村課長補佐	<p>東京都荒川区に給食米を納めています。現在は J A が米集荷及び学校からの注文を受け付けしています。ここで J A にはペーパーマージンが掛かることとなります。このペーパーマージンを省けないか、現在検討中です。また、農家から直接米屋が買ってスーパーへ卸して、一般の家庭向け販売も目指しております。</p>
岩崎副会長	<p>31 ページの「次世代農業教育事業」について、食に対する関心が持て、米を味わうようになっていきます。農家の喜び、苦勞を分かるようになっていくが、それが次世代を担うところまで行くかということ、違うと思います。所得等が見えていないと子供たちはその職業に就こうとは思わない。そのような情報は残念ながらありません。このことで子供たちは自分の将来を描けないので難しいところです。三条市で考える農業の方向性を示し、それを教師が踏まえた上で進路指導することが必要だと思います。</p>
長谷川部長	<p>進路指導の中で農業が余り挙がらないのは、商工業で生活している人は多く、イメージできますが、農業はそれだけで生活できる人が少ないためイメージしにくいことがあると思います。3年間の取組の中で所得向上ができるか難しいですが、少しずつ進めていきたいです。また、教育の中で三条市の農業の取組について伝える場面があるとありがたいと感じました。</p>
坂井委員	<p>山間と平野では水路管理が異なります。集落で水路を守っている現状もあります。集約ばかりすると生き残れる農家が少なくなりますので、大切にしてもらいたいです。</p>
小林(茂)委員	<p>日常生活の中で、農業はすばらしい職業だと前向きなイメージを持たせることも大切。学校での働きかけも良いが、家庭での働き掛けも大切だと思います。</p>
渡邊委員	<p>学校の職場体験は農業がないようですが、少しでも興味がある人が農業をやりたくなるような場面を作ることが大切だと思います。</p>
田村室長	<p>昨年及び今年と中学校の職場体験で農業をやりたいという申出があり、農家とのつながりを三条まんま塾で行いました。教育委員会へも農業の職場体験について農家との仲立ちをする</p>

	旨の文書を出しています。しばらくすれば学校の選択肢として定着すると思います。
渡邊委員	子供たちは弁当の日のために買い物に行くと、ボナペティールを見て、三条のものを選んで買うようになっています。子供の興味を伸ばすような取組をお願いします。
山村課長補佐	今年、農林課に中学生が学習のために2班来たことがありました。どじょうや農林課業務に関心がある子供たちに話をさせてもらったことがありました。
栗生田会長	他にないようですので、議題について、事務局案として進めてください。本日の議題について審議を終了します。
	(報告事項について会議終了時刻間近のため、資料説明省略)
栗生田会長	それでは報告事項(1)「平成 24 年度三条市農業活性化プラン実施状況中間報告」について質問も含めてご発言をお願いします。
小林(茂)委員	ナノミストについては順調に進んでいるのでしょうか。
山村課長補佐	ナノミストを活用した商品はルレクチェとシャインマスカットが有ります。シャインマスカットはクリスマスケーキ用に九州の菓子店から発注を受けています。
坂井委員	良質堆肥製造のための機械に不具合があったとありますが、農家はもみがらの処分に大変困っています。良質堆肥を使って還元するなら、三条・下田・栄三地区に設備を作ってもらえるとありがたい。
長谷川部長	堆肥化センターを三地区に作ることは財政的に厳しいかと思いますが、理事者には伝えていきたいと思います。
栗生田会長	それでは、他にないようですので、質疑を終了させていただきます。 次に、報告事項(2)「平成 24 年度第 2 次三条市食育推進計画実施状況中間報告」について質問も含めてご発言をお願いします。
六原委員	メンズクッキングの対象者はどなたでしょうか。
田村室長	市内在住の男性を対象としています。本日開催しております。
六原委員	定年後の男性が 1 人でも食事できるように、退職後の男性を対象にすると良いかと思いません。日々の食事にかせるような技術を身に付ける男性が増えると良いと思います。

上村委員	新潟県の医療問題協議会で、この地区は野菜の摂取量が少ないという問題が挙がっていましたが現状はどうなのでしょう。
田村室長	市民の食生活の様子から三条市が他と比べて特に野菜が不足しているという状況はないと思います。
渡邊委員	保育所で保護者を集めて講演会を実施しても、なかなか保護者は集まってくれません。市で行っている取組での参加率は多いのでしょうか、少ないのでしょうか。
田村室長	保育所で保護者対象の講話を行う際には、行事として組み込んでいただいていることもあり、参加率は9割以上で大変良い現状です。ほとんどの保護者の方から参加いただいています。講演会というだけでなく、親子でクッキングする等の行事と組み合わせた実施が良いと考えます。
栗生田会長	<p>それでは、他にないようですので、質疑を終了させていただきます。</p> <p>以上で本日用意した内容は全て終了しました。</p> <p>これで平成24年度第2回三条市食育推進及び農業振興審議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。</p>

7 閉 会

午後3時40分